

評価できること

- Ⓐ 税収の増加（特別収納対策室・コンビニ収納の効果等）
- Ⓐ 特別土地保有税の整理（下里地内の山林を公売し収入増が図られた）
- Ⓑ 小川赤十字病院の改築・運営を支援（医療体制の充実）
- Ⓑ 町立保育園の遊具を更新
- Ⓑ 国指定史跡となった下里青山板碑製作遺跡群の保存・活用
- Ⓑ 町ホームページのリニューアル（アクセス数：年 5000 件→20 万件）
- Ⓑ 駅北側整備事業が進む（北口整備のために測量を実施）

一時的保育事業を竹沢保育園へ拡大



実績は前年度と比べ延べ 1000 人増

第2分団第4部詰所改築事業



地域の防災力が強化

評価

町立学校にエアコンを設置



快適な学習環境を提供
(竹沢・八和田・東小川・みどりが丘小・樺台中)

執行率
96%

を認定

平成 26 年度
一般会計歳出決算総額 105 億 9800 万円

大型決算

平成 26 年度は、細川紙のユネスコ無形文化遺産登録をはじめ、下里青山板碑製作遺跡群が国指定史跡になるなど明るい話題が続きました。決算総額も 14 年ぶりに 100 億円超。規模・事業内容ともに充実したものとなりました。一方で、

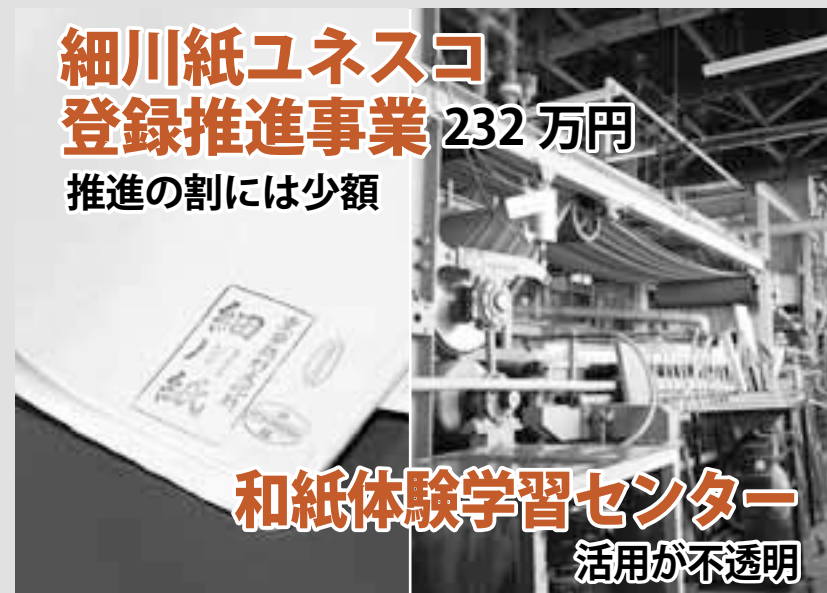
高齢化や若年層の人口流出を背景に財政運営は依然として厳しい状況です。ここでは、実績や関心が高い事業をピックアップ。議会が注目・指摘した事業を中心に紹介します。

今定例会は、平成26年度一般会計ほか各会計決算の認定を中心に、平成27年度一般会計及び特別会計補正予算・条例の改正・人事案件など18件を審議。全て認定・可決・同意しました。
なお一般質問には8人の議員が登壇し、当面する諸問題について町の見解や対応をただし、政策提言を行ないました。

課題と考えること

- Ⓐ 地方債（借金）の借り入れが増加（現在高は過去最高の 101 億円）
- Ⓐ 各基金（貯金）の取り崩しが増加（基金残高の減少）
- Ⓑ 不用額が多い（2 億 2150 万円が使われなかった）
- Ⓑ 企業立地支援条例の施行に伴った効果がみられない
- Ⓑ 働く世代の女性支援がん検診の受診率が低い（子宮頸がん 17%・乳がん 40%）

細川紙ユネスコ登録推進事業 232 万円 推進の割には少額



和紙体験学習センター
活用が不透明

254号バイパス迂回路 (町道 228 号線) が未完成



県道部分の進捗も課題

旧上野台中の活用が依然として不透明



維持管理費に 354 万円

早期の有効活用を

課題